



もっ!

おびにし わくわく通信

NO.14

2024.04.26

文責: 荒木

わくわくした歓迎集会&遠足

今日は、新一年生を迎える歓迎集会と遠足がありました。私も遠足に行く子供のように朝早くから起きて、複数の天気図とにらめっこして、雨対策のために遠足と集会を入れ替えることにしました。(余談: 予想は見事に当たり、集会のときに雨が降りました!)

最初に、全員で渡鹿公園へ向かいました。公園では、手を繋いで公園に入って来た1・6年生を、全校のみんなで拍手をして迎えました。そして、帯西グリーン「ともに生きる心」を伸ばすべく子供たちは、公園の中で元気よく遊んでいました。遠足後は、学校に戻り、お家の人を作ってくれたお弁当を美味しく食べました。



次に行われた歓迎集会は、各学年から工夫を凝らした歌やダンスの披露がありました。2年生は替え歌で1年生を迎えてくれ、3年生は歌とダンスで帯西について教えてくれ、4年生は「お誕生日」の曲で全員参加型のお誕生月を祝い盛り上げてくれました。また5年生の帯西クイズの歌とユニークなダンス、6年生の特技披露ときれっきれのダンスなどもあり、高学年の姿でさらに会場は盛り上がりを見せました。また、全員で「貨物列車」を行い、帯西グリーンの心を伸ばすことができました。

最後は、子供たちが扮した帯西レンジャーが登場し、大盛り上がりを見せてくれました。そして、集会の最後に感想交流を行いました。感想交流の子供が、「今日はどんな心を伸ばしたかを教えてください。」と尋ねると「🟢グリーンが伸びました。貨物列車やいろいろなことで楽しめました。」🟢帯西グリーンの心が伸びました。1年生を迎える会で、いろいろな学年の発表を聞いたり見たりして『いいなあ』と思ったからです」などたくさんの振り返りを聞くことができました。

集会の後も教室に帰り、今日の遠足を終えて、教室では、子供たちがどんな心が伸びたのかを振り返っていました。1年生は「🟢帯西グリーンが伸びました。わけはお兄ちゃんと仲良くなれたからです。」と答え、4年生は「🟡帯西イエローの心が伸びたのは、みんなで協力して発表をして、会場を盛り上げることができたからです。」と感想を言っていました。

このように、行事もただ参加するのではなく、どんな心を伸ばすために参加するのか意識し、その結果どの心が伸びたのかという成長の実感を味わわせることで、子供たちの育ちは大きく違ってきます。また、同じ行事でも、成長を実感する心は一人一人違うことが理解でき、多様性も同時に体感できます。このように考えると、一つ一つの学校行事には、子供たちを成長させるチャンスがたくさん詰まっているのです。

遠足の帰りの出来事

「来た時よりも美しく!」これは、日本人の美德が込められた言葉だと思います。この言葉を5年生が形にしてくれました。今日の遠足後は、5年生が最後に公園を後にしたのですが、5年生が公園のゴミ拾いをしてくれたばかりか、帰り道のごみまで拾ってくれました。こういう姿が、本当に尊く、ありがたいと思いました。

